

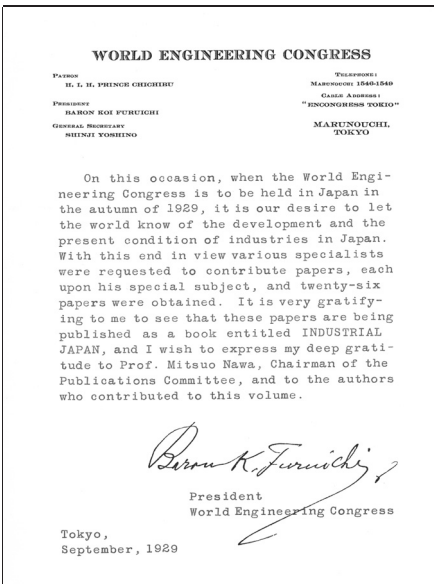
万国工業会議



⑥-5 万国工業会議主要関係者集合写真 前列左から9人目

1925（大正14）年3月、米国機械学会からの要請を受け、古市公威を会長とする工学会は万国工業会議開催を受諾した。

約4年の準備期間を経て、1929年10月29日、東京日比谷公会堂にて開会式を迎える。参加者総数は4495名、海外からは42カ国1285名、とりわけ米国からは同伴者を含め300名余が来日している。提出論文は海外21カ国から442篇、日本371篇、12分科会に分れて発表された。



⑥-6 古市公威の自筆サイン(“Industrial Japan”所収) 左上の主催者欄には BARON KOI FURUICHI と明記されている。

古市らは、“Industrial Japan”を刊行して、我が国の工業発展を大いに紹介した。

当時の時代背景の中で、世界の技術者、工学者が日本において一同に会し、幅広く交流していたことは、記憶に十分値する歴史的出来事だといえよう。



⑥-7 見学旅行の記念ワッペン

古市にとって見れば、憧憬の念にかられて若き日々を過ごした西洋での生活から、すでにおよそ半世紀が過ぎ、自らの歩みと共に国土に蓄積された近代化の成果を世界に問う、技術者・研究者人生の最大の見せ場であり、同時に最後の檣舞台でもあった。



⑥-8 万国工業会議閉会を宣言する古市公威